麻酔科

研修科	麻酔科				
11-X-11-4-11	指導医 2 名				
指導体制	専門医 2 名				
認定					
	またせかからいくせんにませ 1 何せん WAま				
概要	責任基幹施設(社会医療法人 将道会 総合南東北病院)と基幹研修施設(一般財団法				
	人 脳神経疾患研究所 附属 総合南東北病院)及び関連研修施設(医療法人財団 健 ここの 4 施設関で東方原院)(南和馬東方総合原院)の 4 施設関で東方原が製造に定められ				
	貢会 総合東京病院)(南相馬市立総合病院)の4施設間で専攻医が整備指針に定められ				
	た麻酔科研修カリキュラムの到達目標を達成できる教育を提供し充分な知識と技術を備				
	えた麻酔科専門医を育成する。				
	研修期間中に手術麻酔、集中治療、ペインクリニックの充分な臨床経験を積む、通常の				
	全身麻酔・硬膜外麻酔・脊髄くも膜下麻酔・神経ブロックの症例経験に加え、下記の所見の体数の特殊疾動を担当によって経験する。促し、帝王切開る後、駒辺は利え後、殿辺				
	定の件数の特殊麻酔を担当医として経験する。但し、帝王切開手術、胸部外科手術、脳 神経の利氏術に関しては、原図の担当医は14 小児と小膳の第五後については、原				
	神経外科手術に関しては、一症例の担当医は 1 人、小児と心臓血管手術については一症 例の担当医は 2 人までとする。				
	Mの担当医はと人よくとする。 ・小児(6才未満)の麻酔 25 短	宝優			
経験目標	・ 市民切開術の麻酔10 項				
	・心臓血管外科の麻酔25 症				
	(胸部大動脈手術を含む)	נילן			
	- 胸部外科手術の麻酔 25 g	≑ 優			
	・脳神経外科手術の麻酔 25 g				
	שווי בייור אויייני אוויייני	E 1/3			
	〇一般目標				
	• 充分な麻酔科領域及び麻酔科関連領域の専門知識と技量の習得				
	・刻々と変わる臨床現場における適切な臨床的判断能力、問題解決能力の習得				
	・医の倫理に配慮し、診療を行う上での適切な態度・習慣の習得				
	・常に進歩する医療・医学を則して渉外を通じての研鑚を継続する向上心の習得				
	○個人目標				
	(基本知識・診療技術)				
到達目標	麻酔科診療に必要な知識を習得し、臨床へ応用できる。				
	※日本麻酔科学会の定める「麻酔科医のための教育ガイドライン」の中の学習ガイ				
	ドラインに準拠する。				
	(マネジメント)				
	麻酔科専門医として必要な臨床現場での役割を実践することで患者の命を助けるこ				
	とが出来る。				
	(医療倫理・医療安全)				
	医師としての診療を行う上で、医の倫理に基づいた適切な態度と習慣を身につける。				
	医療安全についての理解を深める。				

	(生涯教育) 医療・医学の進捗に則して、障害を通じて自己の能力を研鑚する向上心を醸成する。				
プログラムの 運営方針 及び	・研修のうち6ヶ月間は、責任基幹病院(将道会 総合南東北病院)で行う。 ・基幹施設(一般財団法人 脳神経疾患研究所 総合南東北病院)での研修は、最低2年以上の研修を行う。 ・研修内容、進行状況を配慮して、プログラムに所属する全ての専攻医が経験目標をに必要な特殊麻酔症例を達成できるようにローテーションを構築する。				
研修実施計画例	【研修実施計画例】 1 年目	2年目	3年目	4年目	
	総合東京病院 将道会 総合南東北病院	一財 総合南東北病院	一財 総合南東北病院	総合東京病院	
	一財 総合南東北病院	一財 総合南東北病院	総合東京病院 将道会 総合南東北病院	総合東京病院	
			(, , , , , , , , , , , , , , , , , , , 	NEO	
取得できる 資格	・日本麻酔科学会認定医:研修 5 年目(卒後 7 年目)に専門医試験を受験。				